

2011年3月4日

ニュースリリース

日興アセットマネジメント株式会社

**「ETF エクスプレス アワード 2011」にて
「アジア太平洋におけるベスト ETF 運用会社」を 2 年連続受賞**



etfexpress

AWARD WINNER 2011

©Globalfundmedia Ltd. All Rights Reserved

日興アセットマネジメント株式会社(取締役会長兼 CEO:ティモシー・マッカーシー、以下「日興 AM」)はこのほど、「ETF エクスプレス アワード 2011」において、「アジア太平洋におけるベスト ETF 運用会社」に2年連続で選定されました。

「ETF エクスプレス アワード 2011」は、英国のファンド関連ニュース提供会社「グローバル・ファンド・メディア社」の上場投資信託(ETF)専門サイト「ETF エクスプレス」の読者投票によって決定されるもので、運用パフォーマンスだけでなく、商品の革新性や一貫性、専門的知識の深さや透明性など数多くの要素に基づいて選ばれます。受賞者は3月2日(現地時間)にロンドンにて発表されました。

このたび、数多くの運用会社の中から、アジア太平洋地域における ETF の運用会社として、2年連続で最上の評価をいただいたことは名誉なことです。日興 AM の ETF に対する投資家ならびに市場関係者の方々の多大なるご支持によるものであり、大変光栄なことで受け止めています。

日興 AM はこれまでさまざまな ETF を提供してまいりましたが、2011年3月には、新たに以下3本のETFの上場を予定しております。「上場インデックスファンド日経中国関連株50」は、日興 AM が上場する20本目のETFであると同時に、東京証券取引所に上場する100本目の記念すべきETFとなります。

ファンド名	コード	上場日
上場インデックスファンド世界株式(MSCI ACWI)除く日本	1554	2011年3月8日
上場インデックスファンド豪州リート(S&P/ASX200 A-REIT)	1555	2011年3月9日
上場インデックスファンド日経中国関連株50	1556	2011年3月10日

日興 AM は今回の受賞を励みとして、投資家ニーズにお応えする商品の開発やサービスの一層の向上に努め、ETF 市場の更なる発展に貢献していきたいと考えています。

【ご参考】 グローバル・ファンド・メディア社の公式ウェブサイト <http://www.globalfundmedia.com>
「ETF エクスプレス」ウェブサイト <http://www.etfexpress.com>

以上

*当該評価は過去の実績が評価されたものであり、将来の運用成果等を保証したものではありません。

■リスク情報

- 投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。
- 投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なります。

■手数料等の概要

お客さまには、以下の費用をご負担いただきます。

<取得・換金時にご負担いただく費用>

- お申込手数料 販売会社が独自に定める手数料とします。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
なお、当該手数料には消費税等相当額がかかります。
- 換金手数料 販売会社は、受益者が解約請求、交換を行なうとき、および受益権の買取りを行なうときは、当該受益者から、販売会社が定める手数料および当該手数料に係る消費税等相当額を徴収することができるものとします。
※詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

- 信託財産留保額上限0.3%

<取引所における売買時にご負担いただく費用>

- 売買手数料 取扱会社が独自に定める手数料とします。詳しくは、取扱会社にお問い合わせください。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

- 信託報酬(年率) 上限0.9975%(税抜0.95%)
有価証券の貸付を行なった場合、受取った品貸料に0.525(税抜0.5)以内を乗じて得た額を加えます。
- その他費用 組入有価証券の売買委託手数料、監査費用、立替金の利息、受益権の上場に係る費用、標章の使用料 など

※ その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※ 上記手数料などの合計額については、投資家のみなさまがファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

《ご注意》

- 手数料等につきましては、日興アセットマネジメントが運用するETFのうち、徴収するそれぞれの手数料等における最高の料率を記載しております。(2011年3月4日現在)
- 上記のリスク情報や手数料等の概要は、一般的な投資信託を想定しており、投資信託毎に異なります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)などをご覧ください。

■その他の留意事項

- 当資料は、日興アセットマネジメントが弊社の運用するETFについてお伝えすることなどを目的とし、投資家のみなさまに当該ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者のみなさまに帰属します。当ファンドをお申込みの際には、契約締結前交付書面などを十分にお読みください。

日興アセットマネジメントについて

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 368 号

加入協会: (社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会

日興アセットマネジメント(以下、日興 AM)は、設立以来半世紀にわたり、わが国をリードする資産運用会社として、個人投資家のみなさまには多様な金融商品を、機関投資家のみなさまには投資顧問事業を通じて付加価値のある高品質なサービスを提供しています。

日興 AM の投資信託は、銀行や証券会社、ゆうちょ銀行など約 200 社に及ぶ販売会社のネットワークを通じて、お客さまに提供されています。主に日本株式や債券、不動産投資信託(REIT)に投資する自社運用のファンドに加え、世界の優れた運用会社の多様な運用力を活用して日本の投資家に即した形で商品化する「ワールドシリーズ」プラットフォームを展開することで、お客さまのニーズに合った幅広い商品をお届けしています。

1999 年に国内初の社会的責任投資(SRI)ファンドを設定したほか、国内の資産運用会社として他に先駆けて ISO14001(環境マネジメントに関する国際標準規格)の認証を 2001 年に取得するなど、社会的責任活動に積極的に取り組んでいます。

また、2010 年秋からは自社を「投信製作所」と名乗り、運用会社の役割と投資信託の使い方をわかりやすく伝える啓発活動を行なっています。

運用担当者の責任明確化、調査部門と運用部門の連携強化、リスク管理体制の整備など、これまで運用力向上のため行なってきた取組みが実を結び、リッパージャパン、アジアインベスター、R&I などの外部評価機関から、権威ある賞を受賞しています。

日興 AM グループ*の運用資産残高は約 10.3 兆円(2010 年 12 月末現在)**に上り、ロンドン、ニューヨーク、シンガポールに海外拠点を有しています。

*「日興 AM グループ」とは日興アセットマネジメント株式会社とそのグループ会社の総称です。

**日興アセットマネジメント株式会社および海外子会社の連結運用資産残高(投資助言を含む)です。